



YUKO SHOJI

手芸作家

東海林 裕子さん

ハンズクラフト秋田  
秋田市大町2-4-31  
C・R・A大町ビル2F 204号  
TEL.018-853-8617



## 晴れの日の オンリーワンアート



花嫁をより美しく輝かせる、手作りのウエディングアイテム。  
母から娘へ、幸せへの願いを込めて、  
この世でたったひとつの「宝物」を仕立て上げた。

昨年3月6日。東海林さんは、喜びと感激に包まれていた。

東京で行われたひとり息子の結婚式。花嫁がまとったドレスは、既製品を東海林さんが装飾したもの。中でもベールは、海外から生地やレースを取り寄せて、約2カ月かけて仕上げた力作だ。

ベールのデザインは花嫁、制作は東海林さんが行った。「生地を縫い合わせて、スパンコールとビーズをたっぷり散りばめて。娘になるお嫁さんの笑顔を思い浮かべながら心を込めて作りました」

主役のふたりと相談し、ウエルカムボード、リングピロー、お色直しの和装小物、パーティー用のアクセサリーなども手作りした。当日は、それら東海林さんの作品をウエディングルームに飾り、お客さまを出迎えた。子どものころから手芸に親しんできた東海林さん。「夢中になって作る過程が楽しい。そして作品を人にプレゼントして喜ばれると一層うれしくて」。始めて26年になるパッチワークでは、国内はもとより海外のコンテストに作品を出品したこともある。

現在は、パッチワークの枠を越え、さまざまな作品づくりに挑戦。「ジャンルは意識していません。作りたいもの、思いついたものを自由に作る。そこそが手芸の面白さ」と話す。主宰する「ハンズクラフト秋田」では、「自由な手芸」の楽しさを、生徒と共有している。

昨年、ウエディングアイテムを手掛けたことで「ものづくりの素晴らしさをあらためて実感している」という。花嫁はもちろん、花嫁の家族まで感激してくれた愛情たっぷりのウエディングアイテム。今後は「自分のため、家族のために『ウエディングアイテムを手作りしたい』という人を応援したい。晴れの日をより輝かせるお手伝いができたら」と話す。

